



検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当メディカルセンターをご利用賜り誠にありがとうございます。
このたび、下記の検査項目におきまして検査内容を変更させていただきたく
ご案内いたします。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

●最終受託日 2023年3月30日(木) ご依頼分をもって受託中止

●対象項目

項目コード	検査項目	備考
2597	TSH 刺激性レセプター抗体 (TSAb)	新規項目受託開始に伴う受託中止

●代替項目

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	検査方法	基準範囲 (単位)	所要日数	実施料判断料	備考
794	甲状腺刺激抗体 (TSAb)	血清 0.3	普	冷蔵	Bio assay	110 未満 (%)	2~4	340 免疫	溶血でのご依頼は避けてください。(溶血検体では、測定値が低値となる可能性があります。)

●甲状腺刺激抗体 (TSAb)

甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

甲状腺機能亢進症におけるバセドウ病は TSH 受容体抗体 (TRA b) によって発症します。TSH 受容体抗体には刺激型と阻害型の2種類があり、このうち刺激型は TSH 受容体に対してアゴニストとして作用し、甲状腺細胞膜中の adenylate cyclase 活性を刺激し、甲状腺内のサイクリック AMP (cAMP) 産生を増加させるバセドウ病の原因物質と考えられます。甲状腺機能亢進症を示すバセドウ病の診断、破壊性甲状腺機能亢進症（無痛性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎）との鑑別診断に有用です。

詳細につきましては、渉外担当者までお問い合わせください。



岡山市医師会
総合メディカルセンター

TEL. 201-5550 FAX. 201-1352

●疾患との関連

バセドウ病

●関連する主な検査項目

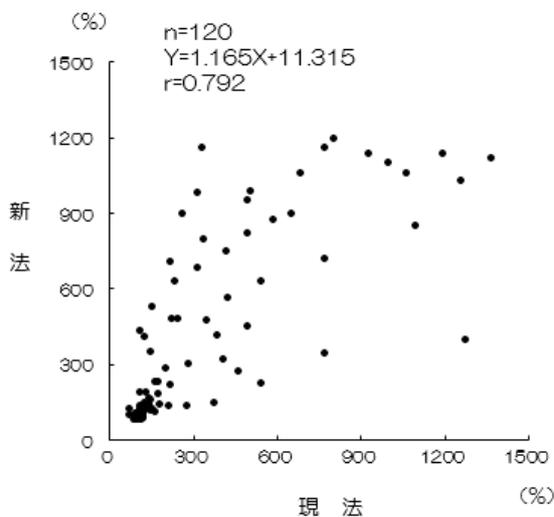
TSHレセプター抗体（定量）
 TSBAb（TSHレセプター抗体[阻害型]）
 TSHレセプター抗体〔CLEIA〕

●検査要項（現法との比較）

	新	現
検査項目名	甲状腺刺激抗体（TSAb）	TSH 刺激性レセプター抗体（TSAb）
項目コード	794	2597
検体量	血清 0.3mL	血清 0.8mL
容器	普（汎用採血管）→ X（ポリスピッツ）	
保存方法	冷蔵保存してください	
所要日数	2～4日	3～5日
検査方法	Bioassay	Bioassay EIA
基準範囲（単位）	110 未満（%）	120 以下（%）
報告範囲	92 未満、92～99900000	0～99999999
桁数	有効 3、整数 8、少数 0	有効 8、整数 8、少数 0
検査実施料	340 点（「DO14」自己抗体検査「38」）	
判断料	144 点（免疫学的検査判断料）	
備考	溶血でのご依頼は避けてください。 （溶血検体では、測定値が低値となる可能性あります。）	

●相関図

TSH刺激性レセプター抗体（TSAb）



区分	項目コード	検査方法
新法	794	Bioassay
現法	2597	Bioassay EIA

相関一致表

		現法	
		陰性	陽性
新法	陰性	50	0
	陽性	8	62

一致率：93.3%（n=120）

●参考文献

田上 哲也, 他：測定法 糖尿病・内分泌代謝科 53（5）479～486, 2021.
 上條 桂一, 他：臨床意義 医学と薬学 79（9）1199～1207, 2022.